

寺嶋 みづきさん（平成18年卒）

飯豊中学校 教師

◇お仕事の内容を教えてください

中学2年生の担任をしています。「1年生から3年生」、「後輩から先輩」への移行期という難しい時期を過ごす生徒と関わっています。また、部活動は中学校の頃から力を注いだ吹奏楽部の指導を担当しています。どちらも、生徒自身に自分の長所を気付かせ、その長所に自信をもち、一人一人の生徒が輝く場をつくっていきたいとの思いで、生徒に接しています。



◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

自分の価値に気付けずに自信を持ってないままなんとなく過ごしていた生徒の長所を見つけ気付きを与えることで、生徒が自信を持ち生き生きと学校で過ごせるようになった時に喜びを感じます。

例えば、学業成績が悪く自信を持ってない一方で他人の世話をするのが好きな生徒に、それが長所であり武器になることを伝え続けていたのですが、その生徒が医療系学校への進学を実現した時は、嬉しかったですね。

◇将来の夢を教えてください

仕事に関しては、自分が指導している吹奏楽部が、あと一步の殻を打ち破り、東北大会、全国大会に出場することですね。そのために自分自身ももっと勉強して成長したいと思います。それから、担当教科でもある理科について身近な自然現象等、更に専門的に勉強していきたいと考えています。大学時代から宇宙について興味を持っていました。そのため、将来は宇宙旅行するのも一つの夢です。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

吹奏楽で全国大会に行きたいとの思いで専北に入学したので、吹奏楽に力を注いだ3年間でした。

先生の指示を受け活動する、というよりも仲間同士で常にどうすれば良い演奏が出来るか等について意見をぶつけ合い、先生に提案するという自主的な活動でした。結果、部長を務めた3年次に東北大会で銀賞を獲得することが出来ました。また、将来は教員になりたいという希望が当時からあったので、大学進学できるよう特別進学コースに3年間在籍し、勉強と部活動を両立できるよう取り組みました。朝から晩まで毎日、専北の校舎にいた高校生活だったのかな？と思います。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

何かを与えられることを待つのではなく、自分で考え、自分で動いて高校生活を楽しんで貰いたい、と思います。誰かが楽しい空気とか場所を作ってくれるのではなく、自分で作ろうと動いてみたり、自分が打ち込める何かを見つけるようにすればきっと楽しい高校生活が送れると思います。自分から「こーやりたい」、「この結果が欲しい」、といった欲を持つと、きっと新しい世界が見えてくると思います。

☆取材後記

「待つのではなく、自分で動き、楽しめ！」とのメッセージは、高校生活だけでなく、人生の指針のような気がします。専北生の皆さんに参考にして欲しいです。（担当：Y）